

居合道 だより

第136号





先月、広島で開催された第52回全日本居合道大会に参加して、色んなことを考えさせられた。

福岡県勢の選手たちは約4ヶ月に及ぶ錬成会の成果で本当に上達した。一皮むけたようにさえ感じた。また、監督をはじめ強化委員たちの熱意には心から感謝したい。しかし残念ながら結果は予想外だった。試合に勝つことは本当に難しい。

我が県の選手は3人とも昨年に続き2年連続出場だった。2年もの間、県代表という重圧を背負いながら、苦しい稽古を続けてきた。そして悔しい思いも経験した。

しかしその経験は彼ら自身の居合道の大きな財産になるはずである。否、それだけではなく、我が県の居合道部にとってもしかりである。

彼らはこの貴重な経験を糧にますます成長して、必ずや将来の我が県居合道部の立派な指導者になってくれるはずである。

最後の錬成会での監督の言葉も印象に残る。『結果は問わないから、悔いの無い試合をせよ』と。当たり前のようにでなかなか言えるものではない。選手たちにとってはどれほど心強い言葉だったことか。いずれにしても選手、監督そして指導者の先生方、本当にご苦労様でした。

今年は、初めて審判主任として臨んだ。審判の時よりもより客観的に試合を拝見できたと思っている。

神ではない身で、技の優劣を判定するという審判の難しさ。見る目の技量、技前や居合道そのものに対する考え方、そして私心を入れない強い心、すべてが求められる。

我々審判員も、悔いの無い判定が出来たであろうか、常に自問自答する心構えが必要だろう。

五段を取得できるまでには最短でも10年以上の経験が必要であるが、今大会五段の選手の年齢層は25歳から67歳までと、広範囲だった。

25歳で五段とは当然幼少の頃からの剣歴だし、67歳で五段とは、普通ならある程度歳を重ねてから始めたと思像できる。それぞれの年代、体格、性別によって居合もそれぞれの居合があるべきだと感じた次第。

そしてそれぞれにとって、居合が己の人生の何らかの糧になることを、願うものである。

主な活動

10 月 21 日 (土)

第 52 回全日本居合道大会

全剣連
広島県

[広島サンプラザ](#)



11 月・12 月の活動予定

11 月 11 日 (土)

剣道・居合道・杖道教士称号筆記試験

全剣連

東京都千代田区・名古屋市・神戸市・福岡市

18 日 (土)

居合道 6・7 段審査会

全剣連
東京都

24 日 (金)

居合道八段審査会 (東京)

エスフォルタアリーナ
八王子

26 日 (日)

居合道部稽古会・級審査会

居合道部
福岡武道館

道場訪問 - 伯正会

今回は浮羽中学校柔剣道場で稽古されている伯正会の皆さん取材しました。

伯正会は流派が伯耆流（ほうきりゅう）と福岡では少数派な流派ですが、古流演武の際の気合のこもった発声が特徴です。

居合としては源流は戦国時代まで遡るかなり実践的な流派で、甲冑を着て戦うことを想定されており、甲冑の無い脇の下からの切り上げ、力が入る添え手突きなどが核になって構成されている。また、「納刀時に左手の指先で血を拭う」や「下げ緒は結ばず鞘にかけておく」など伯耆流独特の実践的な所作が、聞いているだけで戦国時代にタイムスリップしているようです。

いろいろなことを想定しながら拝見する稽古はまた一味違ったものでした。



伯正会（伯耆流）

代表 大石英明先生

稽古場所：浮羽中学校 柔剣道場

稽古日は土曜日 19：30～21：00



大石先生

道場訪問 - 瀬川道場

八幡東柔剣道場で木曜日及び金曜日に稽古されている今浪先生率いる、瀬川道場は、故瀬川先生が創設した道場で、脈々とその精神が受け継がれている道場です。

夢想神伝流で、特に制定居合だけではなく、古流にも重きを置きながら、瀬川先生より伝授された技を伝承している道場です。特に生前瀬川先生が旧日本軍少将で実践で戦っておられたことなどから、実際に形だけではなく切れる居合を目指して努力されておられるとのことでした。

皆さんはとてもフレンドリーで会場の雰囲気そのものが気兼ねすることなく、ゆっくりじっくりと研鑽できる雰囲気作りをされておられるのが特徴的でした。

女性剣士が多く

ちなみに駅からのアクセスは抜群に良く、徒歩1－2分のところにあり車でのアクセスも非常にいいようです。



瀬川道場（夢想神伝流）

代表者：今浪勝之先生

稽古場所：八幡東柔剣道場

（JR 八幡駅下車徒歩1分）

稽古日は木曜日 19：00～21：00、

金曜日 19：00～21：00



伯正会



瀬川道場

伯正会を訪問した折の実践的な古流や、後日、瀬川道場（夢想神伝流）を訪ねた時に「故瀬川先生は実践でスパイなどと戦っていた。」という話など、居合道は間違いなく過去に実際”戦う”“や”切る”“ということを経験した事に基づいて積み上げてきたものであると実感した訪問でした。

現在道場訪問時、八段 小田先生が「力入れるな！力入れなくても刃物は切れる」というお話もされておられます。いつもなるほどと思いながら胃の腑に落とすのですが、稽古と違い取材に伺うといつも刺激を受け、ワクワクドキドキしながら、稽古しなきゃ！と焦りながら、毎回「奥が深いなあ」と感心しながら、日々是精進と呟きながら、やっぱり稽古で力みながら（汗）（汗）（汗）

ご多忙の中、各道場の皆様にはこの場をお借りし、心より感謝申し上げます。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第136号 平成29年11月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847